

大谷選手のグラブ、平泉にも 児童主体でルールを決めて活用



学校に贈られたグラブを手に「大谷さんのような選手になりたい」と笑顔を見せる長島小5年の千葉碧依さん(左)と吉家七音さん

メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手(奥州市出身)から全国の小学校に贈られたグラブが平泉、長島両小学校にも3個ずつ届けられました。児童たちが主体となり、多くの人が使える工夫や安全面を考慮したルールを決めて活用。休みの時間の校庭では、児童たちがキャッチボールを楽しみ、充実した時間を過ごして

七音さん(5年)は「昼休みは合奏団の練習で使えない学年があるので、みんなが使えるようにルールを考えたい。長持ちするように掃除をしながら、みんなでたくさん遊びたい」と声を弾ませました。平泉小では、体育委員会が「職員室で借りる」「校庭のネット側で遊ぶ」「バットは使わない」などのル

ています。長島小では、保健体育委員会が話し合い、業間休みと昼休みで使える学年を分け、汚れたら拭いて返却することとし、2月19日から利用を始めた。委員長の吉家



大谷選手からのグラブで屋外キャッチボールを楽しむ平泉小の児童たち

町地域おこし協力隊 Vol.8 ひらいずみ活動通信

都市部から町内に移住した地域おこし協力隊員による連載「ひらいずみ活動通信」。今回は、福岡県出身の河野綾華さんです。

LINEのオープンチャットグループはこちらから→



平泉の米粉を使ったケーキなどを道の駅平泉で販売

カフェやマルシェを開催予定です!

平泉産の米粉を使用して作ったケーキやスコーンなどを、正月に道の駅平泉で販売し、近隣の方や帰省された方などに購入頂きました。平泉の手土産になる商品を開発できればと考えています。またカフェやマルシェの開催を予定しています。地域の皆さんと一緒に作り上げていけたらと思っていますので、ご協力頂けると大変うれしいです。「応援するよー!」「DIY(日曜大工)好き!」「何をやっているか知りたい」という方は、二次元コードからLINEグループにお気軽にご参加ください。



この河野あやか綾華さん

日本農業遺産「東稲山麓地域」農林業システム 【第8回】地域を守る取り組み

複合的な災害リスクに備えたシステムは、家族経営による小規模農家を中心とした地域コミュニティによって継承され、近年は地元住民や多様な主体が参画・連携し、さまざまな取り組みが行われています。

例えば、地元住民などで構成する「東稲山さくら会」は、東稲山麓にある「西行桜の森」で桜の植樹など保全活動。写真①②を行って、ほか、平泉町の農事組合法人アグリ平泉は、田んぼアート。写真③④による首都圏や町内の小中学生との交流など、地域活性化につながる取り組みを続けています。

このように、個人による農地の分散所有と、地域の共同組織による管理が伝統的に行われてきたことで、災害に対する高い回復力を持ったシステムが300年前から受け継がれてきたこと



や、多様な主体の参画による取り組みが評価され、日本農業遺産に認定されました。東稲山麓地域は、今後も地域が一体となって活動を進めていきます。(東稲山麓地域農業遺産推進協議会) 終わり



令和5年度町生涯学習市民のつどい(町教育委員会主催)は2月17日、町学習交流施設「エピカ」で開かれ、スポーツの分野などで優れた成績を収めた個人・団体への表彰や成果発表などを通じ、生涯学習推進の機運を高めました。

約120人が出席。児童生徒交流事業として昨年12月に東京都小笠原村を訪問した小中学生の発表、「達谷窟毘沙門神楽」の体験講座を受講した小中学生の成果発表などが繰り広げられました。

町教育委員会表彰の受賞者は、次の通りです。(敬称略)

▽ 餘目恒(県立前沢明峰支援学校高等部3年) 特



小笠原村での交流事業に関する事業発表

令和5年度「町民のつどい」 生涯学習推進の機運高める

別全国障害者スポーツ大会2023陸上競技男子27-1少年100m 1位ほか▽小野寺璃優(平泉小学校2年) 第21回県学童水泳競技大会2年男子100m 1位ほか▽山田志槻(長島保育所年長児) 令和5年度歯・口の健康に関する図画・ポスター! 標語コンクール 図画保育園の部金賞▽佐藤文政(13区) 11 いて盛岡シティマラソン2023フルマラソン男子80歳以上1位▽平泉中学校野球部 第27回東北少年軟式野球大会準優勝



表彰を受ける平泉中野球部員